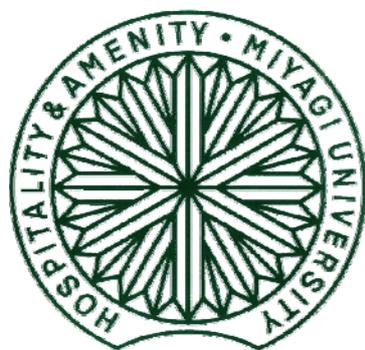


平成23年度宮城大学ベストティーチャー賞

平成23年9月14日



ベストティーチャー選定委員会

平成23年度宮城大学ベストティーチャー賞（平成23年9月14日）

平成23年度宮城大学ベストティーチャー賞の表彰式が、平成23年9月14日（水）共通教育FD研修会の前に開催されました。式の冒頭、ベストティーチャー選定委員会の幹事委員である弦本副学長より受賞者の食産業学部 木村和彦教授「土壌肥科学」が発表され、その選考経過と選定理由が説明されました。続いて西垣学長より、木村和彦教授に表彰状と目録が授与されました。



【選考経過】

平成22年11月30日：部局推薦による選考対象は1名

①食産業学部 木村和彦教授「土壌肥科学」（2年次後期，必修，受講者46名）

平成22年12月6日：第1回BT賞選定委員会にて選定委員と選定手法決定，BT賞候補者と対象講義名が確認される

平成23年1月20日：木村和彦先生の講義資料評価，授業視聴，学生ヒアリング実施
（12月27日～1月20日にかけて分野教員ヒアリング実施）

平成23年2月21日：第2回選定委員会にてスコア・講評等総合評価にて平成22年度後期開講科目におけるBT賞候補者決定

平成23年5月31日：平成23年度前期開講科目におけるBT賞候補者推薦無し

平成23年7月6日：学務入試委員会にて平成23年度BT賞受賞者内定

平成23年7月20日：教育研究審議会にて平成23年度BT賞受賞者承認

平成23年7月27日：理事会にて平成23年度BT賞受賞者決定

平成23年度の宮城大学ベストティーチャー賞を，食産業学部 木村和彦教授（担当科目「土壌肥科学」）と決定した。

【受賞理由（選定委員コメントより）】

小テスト，10分テスト，振り返り表といった取り組みにより，「繰り返す」「理解を促す」「記憶する」という学習計画が，密にプロデュースされている。15回の振り返りが1冊になって，連続性を持たせているところは，学生にとっては，授業を全体の枠でとらえながらの有用なガイドラインになっていると思われる。特に，振り返りシートの工夫，実践が最大の目玉かと思われる。専門必修で30-40名規模の講義の見本と考える。とにかく「工夫のデパート」だった。

【模擬講義】

最後に，木村 和彦教授による模擬授業が行われました。

この中で，実際に授業で使用した「10分テスト」や「振り返りシート」，参考資料として授業改善に係る資料等が配布されました。スクリーンではパワーポイントを使いながら，木村和彦教授の授業改善への取り組みなどが説明されました。

ベストティーチャー賞については，弦本副学長より制度や選定方法を抜本的に見直すため平成24年度は選定を行わないことが説明され，平成23年度宮城大学ベストティーチャー賞の表彰式は無事終了しました。